

R 8 知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会資料

事業説明

- ・落石対策工事は令和 7 年度に法面中腹にある不安定岩塊 5 個についてロープ掛け工が完了。
令和 8 年度は法面上部にある不安定岩塊 2 個についてロープ掛け工を実施予定。
- ・擁壁対策工事は令和 7 年度に全ての工事が完了。
- ・新たに硫黄山登山口ゲートを令和 7 年度に設置完了。
- ・知床大橋は長寿命化のための補修工事が令和 7 年度に一部完了。
- ・知床大橋までの供用開始は目標とし、硫黄山登山口から知床大橋までの調査を進めていく予定。

【知床公園線について】

落石対策箇所

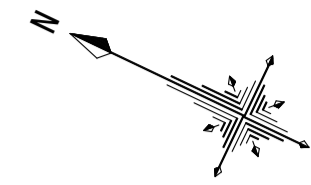


待避場①

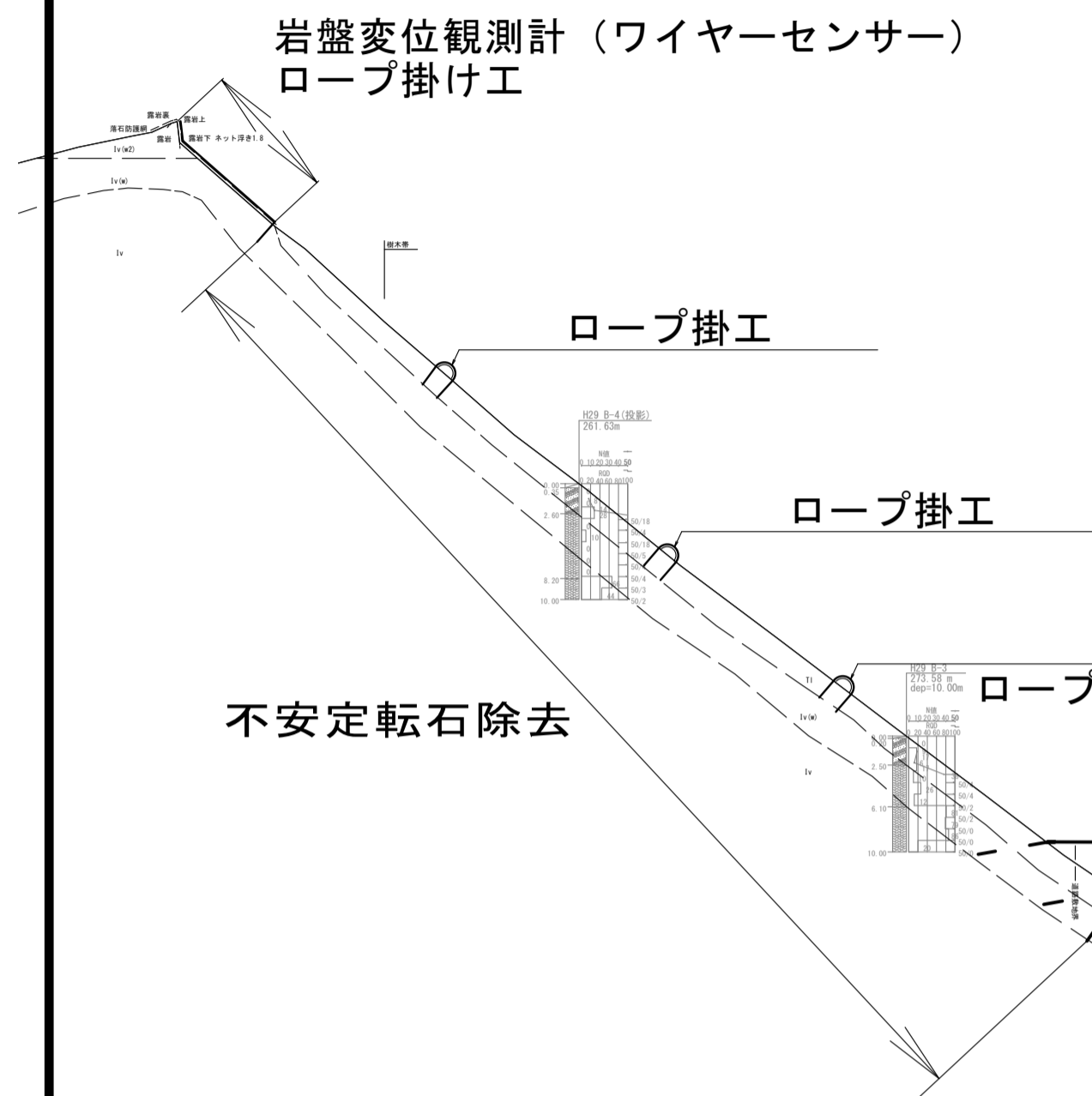


待避場②





標準断面図



ロープ掛け工



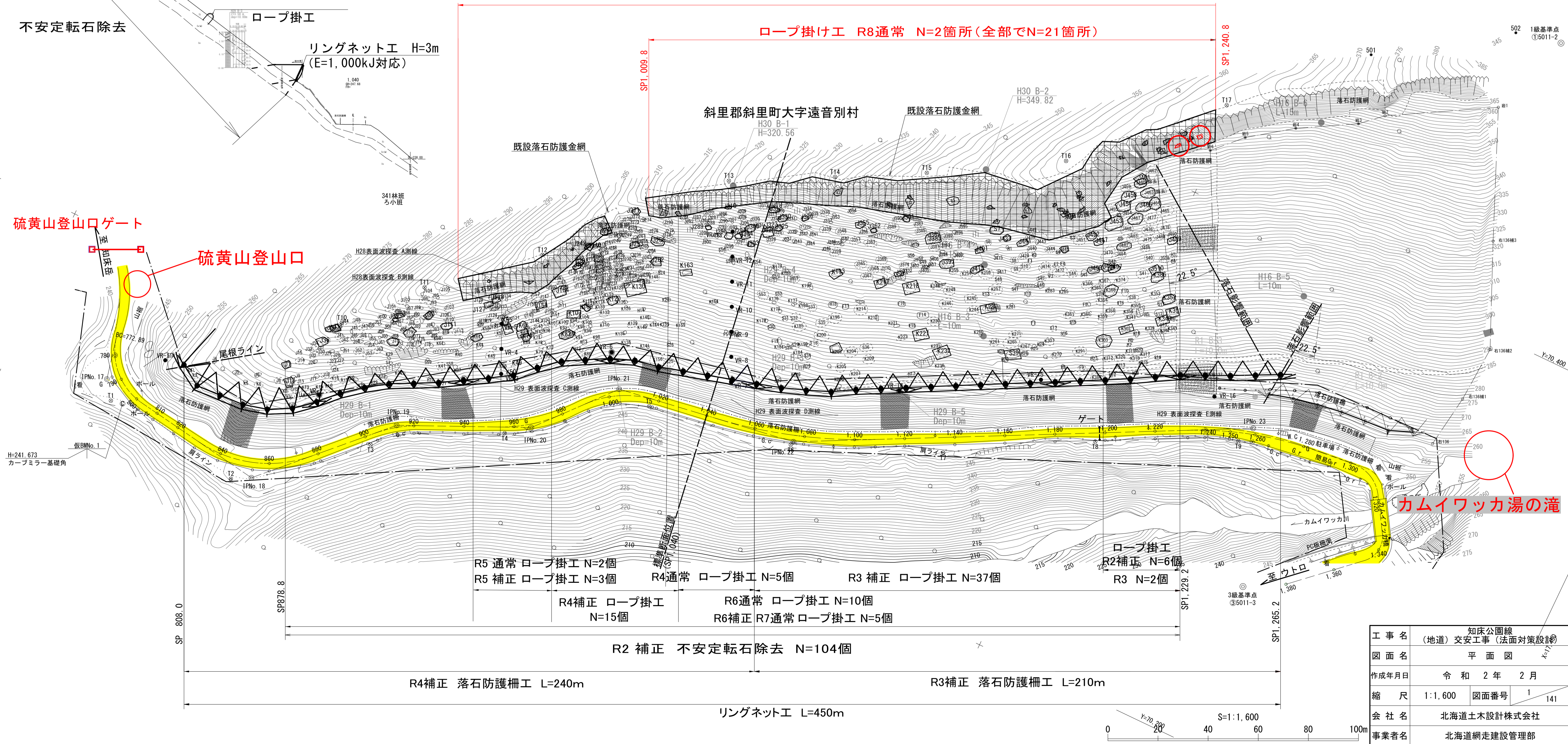
R3(地道債) 岩盤変位観測計設置 22箇所

ロープ掛け工 R8通常 N=2箇所(全部でN=21箇所)

硫黄山登山口ゲート

硫黄山登山口

カムイワッカ湯の滝



R5 通常 ロープ掛け N=2個
R5 補正 ロープ掛け N=3個
R4 通常 ロープ掛け N=5個
R3 補正 ロープ掛け N=37個
R3 N=2個

R4補正 ロープ掛け N=15個
R6通常 ロープ掛け N=10個
R6補正 R7通常 ロープ掛け N=5個

R2 補正 不安定転石除去 N=104個

R4補正 落石防護柵工 L=240m
R3補正 落石防護柵工 L=210m

リングネット工 L=450m

工事名	知床公園線(地道) 交安工事(法面対策設備)		
図面名	平面図		
作成年月日	令和2年2月		
縮尺	1:1,600	図面番号	1/141
会社名	北海道土木設計株式会社		
事業者名	北海道網走建設管理部		

現場事務所 4坪2連

山裾
コンプレッサー N=2台

モノレール架設想定ライン

落石防護網

資材ヤード A=60m2程度

11tユニック

肩ライン

落石防護柵

<施工ヤード計画留意事項>

・施工ヤードは机上での設定であるため、現地条件(草木等の障害物の有無、傾斜の有無等)に応じて支障のない箇所へ変更すること。

<資材ヤード面積算出根拠>

- ・ロープ掛工材料の総重量→6t程度=11tユニック1台分を考慮
- ・11tユニック1台分の荷台面積→20m2程度

↓
資材ヤードには上記の3倍程度の面積が必要
20×3=60m2程度

工事名	知床公園線 (防交786) 防災工事(法面設計)		
図面名	施工計画図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:200	図面番号	39 / 39
会社名	株式会社 開発調査研究所		
事業者名	北海道網走建設管理部		